

## 「浄められた夜」 デーメル詩のあらすじ



雲一つない月夜に男女が林の中を歩いている。

女が「子どもを身ごもっているがあなたの子ではありません」と告白する。罪を感じながら歩いていること、見知らぬ男との情事の末に身ごもったこと、そして人生の報いを感じていることを續けて語る。

女は月を見上げ、その瞳には涙が溢れている。

すると男が、「授かった子どもを重荷に考えてはいけない。お互いの心のぬくもりがおなかの子どもを浄めてくれる。その子を僕の子として産んでほしい」と訴える。

男は女の腰を抱き、2人は高く明るい夜空に照らされながら歩んでいく。



# ホーネックが導く つややかな弦楽

紀尾井シンフォニエッタ東京の今シーズンの押尾を飾って、当団と幾多の名演を繰り広げてきたライナー・ホーネックが登場します。プログラムはモーツァルトとシューベルトが作曲した弦楽作品です。軽快なモーツァルトと濃密なシューベルトの対照的な作品をお聴きいただけます。

プログラム前半の曲目はモーツァルトの「デューエルトメントK334」です。デューエルトメントはもともと華やかで娯楽性に富んだ作品ですが、この作品は演奏時間が約45分、全曲で6つの楽章を有するという、デューエルトメントとしては、異例なほど超大な作品となっています。何よりも、この作品の3楽章「メヌエツト」は、モーツァルトの「メヌエツト」として、広く知られています。全曲を通して、晴れやかかつ優雅な曲調で、作曲家家モーツァルトの独壇場と呼ぶにふさわしい名作です。

後半のシューベルトの「浄められた夜」は、前半の作品とは一転し、高

い緊張感に包まれた大人の音楽です。

「浄められた夜」はドイツの詩人デーメルの作品で、シューベルトはこの詩に音楽を付けました。夜の林の中、女性から衝撃的な事実を告げられた男性と、苦悩を吐露する女性との対話が描写されています。無調音楽や十二音技法の創始者としてのイメージが強いシューベルトですが、この作品は、後期ロマン派の濃厚な面影を残すドラマティックな音楽です。

今回は室内楽用に作曲された2つの作品を、それぞれ弦楽合奏版として演奏します。当団自慢の弦楽セクションの魅力をお楽しみいただける公演に今期待ください。

### 関連公演

#### KSTアンサンブル2014 with ライナー・ホーネック

今回は定期演奏会に引き続き、ホーネックをゲストに招いたKSTアンサンブルも開催します。弦楽四重奏用にアレンジされたモーツァルトのオペラ作品をはじめ、ウィーンゆかりのシューベルト八重奏曲など、室内楽の醍醐味をお楽しみください。

6.10 19:00

紀尾井シンフォニエッタ東京  
第95回定期演奏会

ホーネックが導く  
つややかな弦楽

6.6 19:00

6.7 14:00